



赤ちゃんを元気に育てるから生まれた
Aprica

Easy-Touch color

取扱説明書／保証書

新生児から体重14.9kgまでのお子さま1人用子守着です。



〈ヨコ抱っこ〉 〈タテ抱っこ〉



〈前向き抱っこ〉 〈おんぶ〉

兼用タイプ

このたびは、アプリーカ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

ご使用前に、本書をよくお読みのうえ正しくお使いください。取扱説明書に記載されている以外の方法で使用しないでください。製品の機能が充分発揮できないだけでなく大変危険です。

また、お読みになった後は、本書は必ず保管していただき、必要に応じてお読みください。

もくじ

製品を取り出した時に	1
ご使用前に	1
表示内容について	1
装着者の体型について	1
抱っこ・おんぶについて	2
ご使用上の注意	3
警告	3
注意	4
禁止事項	4
ヨコ抱っこする時は (生後すくから首がすわるまで 体重6kgまで)	5
お子さまを乗せる前の準備	5
ヨコ抱っこのチェック	7
お子さまを降ろす時	7
タテ抱っこする時は (首がすわってから 体重11.3kgまで)	8
タテ抱っこのチェック	10
お子さまを降ろす時	10
前向き抱っこする時は (首がすわってから 体重11.3kgまで)	11
前向き抱っこのチェック	13
お子さまを降ろす時	13
おんぶする時は (首がすわってから 体重14.9kgまで)	14
おんぶのチェック	16
お子さまを降ろす時	16
困った時には	17
洗たくについて	18
SGマークについて	18
保証書	裏表紙

当社連絡先

〈アフターサービスについての連絡先〉

アプリーカ・チルドレンズプロダクツ株式会社

〈電話連絡先〉

お客様サポートセンター TEL 0120-415-814

受付時間：AM10:00～PM5:00 (土、日、祝日、当社所定休日を除く)

07ETCO-02

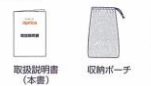
製品を取り出した時に

- ・製品を取り出した後は、部品が揃っているか、破損がないかを確認してください。
- ・欠品や破損の際は、お買い上げの販売店または当社までご連絡ください。

〈本体〉



〈付属品〉



〈収納ポーチに入れる時〉

- ・パックボードは取り外してください。
- ・ヘッドサポート部を折りたたみように折りたたんで入れてください。

ご使用前に

表示内容について

- ・「警告」、「注意」、「禁止」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表示	表示の内容
警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。
禁止	製品の取り扱い禁止の行為です。絶対してはけません。

装着者の体型について



- ・ヨコ抱っこで、ショルダーベルトの長さ調節をしても、お子さまの位置が装着者の胸より上になる場合や、下腹部より下になる場合は使用しないでください。

警告 装着者が痛みや不快感を感じた場合は使用を中止する。装着者の体調を損なうおそれがあります。

抱っこ・おんぶについて

- ・お子さまの発育は個人差がありますので月齢表示は目安にしてください。

参考月齢	0月	首すわり(3-4月頃)	4月頃	腰すわり(7-8月頃)	12月頃	30月頃	体重
ヨコ抱っこ	生後すくから首がすわるまで (4月頃まで)						6.0kgまで
タテ抱っこ	首がすわってから (12月頃まで)						11.3kgまで
前向き抱っこ	首がすわってから (12月頃まで)						11.3kgまで
おんぶ	首がすわってから (30月頃まで)						14.9kgまで

ヨコ抱っこ



タテ抱っこ



前向き抱っこ



おんぶ



- ・お子さまの衣類の厚みや体格によっては使用できないおそれがあります。
- ・ヨコ抱っこ使用時、お子さまの身長は64cmまでです。

ご使用上の注意

ここに記載した内容は非常に重要です。よくお読みになり、必ず守ってください。

警告 ・誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

警告

お子さまが転落し、けがをすることがあります。

 回転バックル、調節バックル、調節バックルを列した状態で使用しない。	 回転バックルベルト、調節バックルベルト、調節バックルベルトは必ず調節し、締められた状態で使用しない。
 立ったままお子さまを乗せおろししない。	 走ったり、跳んだり、前かがみなどの無理な姿勢をとらない。
 ヨコ抱っこでは、寝返りができるお子さまや、体重6kgを超えるお子さまに使用しない。	 ヨコ抱っこでは、ヘッドサポート部から顔部が出るお子さまに使用しない。
 ヨコ抱っこでは、お子さまの顔部をお尻よりも高い位置にして必ず後頭部を手で支えて使用する。	 ヨコ抱っこでは、ショルダーベルトをけさ掛けにし(調節と片腕を通します)、お子さまを両手で支えて使用する。
 タテ抱っこ、前向き抱っこでは、体重11.3kgを超えるお子さまに使用しない。	 タテ抱っこ、前向き抱っこでは、お子さまを両手で支えて使用する。
 おんぶでは、体重14.9kgを超えるお子さまに使用しない。	 おんぶの時は、装着者ひとりでは取り付けない。必ず他の人に支えてもらい取り付ける。





警告

使用者が体調を崩すことがあります。

 授乳後30分以内や、連続2時間以上使用しない。	 装着者が痛みや不快を感じた場合は使用を中止する。
--	---

注意 ・誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

注意

 火気の取り扱い中や、ストーブなど火の近くに放置しない。	 直射日光のあたる場所に保管しない。変色や劣化が早まります。
 バックルなどの部品の破損につながる過度な力を加えない。	 ヨコ抱っこ、タテ抱っこ、前向き抱っこ時は足元が見えにくくなる場合がありますので歩行には充分注意してください。

禁止事項 ・次のような使用は絶対しないでください。


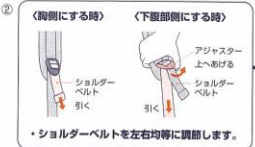

禁止

 ベルトの先端の鋭い端をほどいたり、切り端とした後の使用。	 バックルなどの部品が破損したり、ベルトや生地などに破れ、ほつれ、きずがある状態での使用。
 屋外に放置し、雨などにさらした後の使用。	 車での使用。
 その他、荷物などの運搬や、お子さまを抱っこ、おんぶする以外の目的での使用。	

ヨコ抱っこする時は(生後すぐから首がすわるまで 体重6kgまで)


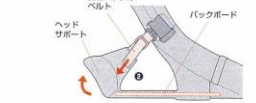


・購入時、バックボードは本体に取り付けられています。

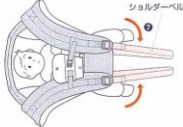


〈お子さまを乗せる前の準備〉

 ①	 ② 〈胸間にする時〉 〈下腹部間にする時〉 アジャスター上へおけるショルダーベルトを引く。 アジャスター上へおけるショルダーベルトを引く。 ・ショルダーベルトを左右均等に調節します。	 ③ ショルダーベルト ゴムの輪
--	---	--

①左右のショルダーベルトを合わせ、けさ掛けにします。
②子守帯が装着者の胸から下腹部までの高さになるようにショルダーベルトを調節します。
③調節後、ショルダーベルトの端部が長い時は、ゴムの輪に通し短くまとめます。

確認 〈バックボードの手による確認〉 ・クッション面がお子さま側にありますか。
・ヘッドサポートの紐が目まで差し込まれていますか。

 ①安全な場所で本体を広げます。	 ②回転バックルベルトを短く調節し、ヘッドサポート部を立ち上げます。
 ③お子さまを本体の上に寝かせます。 ④前あて部をお子さまのお腹に乗せます。	 ⑤左右の腹部バックルを差し込み取り付けます。 ⑥お子さまのお腹周りは、大人の指が2〜3本入る程度に腹部ベルトを調節します。

 ①左右のショルダーベルトをお子さまの股に通します。	 ②調節バックルを差し込み取り付けます。	 ③調節ベルトを一番短く調節します。
--	---	--

警告 ・調節バックルは「カチッ」と音がするまで差し込み、外れないことを確認する。
・調節ベルトをゆるめた状態で使用しない。

 ④ベルトパッドで左右のショルダーベルトA、Bをまとめ、ホックをとめます。	 ⑤ベルトパッドを調節させ、C、Dの下側にE、Fをまとめてホックをとめます。
---	---

 ⑥ショルダーベルトを、けさ掛けにします。(イラストは左けさ掛けです。)	 ・左右どちらの肩に掛けても使用できます。
--	--

ヨコ抱っこチェック

確認

- 回転バックルが確実にとまっている
- カバーを閉じている
- 腹部バックルが確実にとまっている
- 腹部ベルトを調節している
- ショルダーベルトを調節している
- バックボードの字による確認
- ショルダーベルトを調節している
- ショルダーベルトの端部が長い時はゴムを締めておく

・お子さまを両手で支えて使用してください。

・正しくできていない場合は、もう一度取り付け、調節を行ってください。

警告

- 回転バックルや腹部バックル、調節バックルを外した状態で使用しない。
- ヨコ抱っこでは、肩ベルトを掛けず、お子さまを両手で支えて使用する。
- お子さまが転落し、けがをすることがあります。
- 装着者が痛みや不快を感じた場合は使用を中止する。

お子さまを降ろす時

① お子さまを安全な場所に寝かせ、ショルダーベルトを装着者の肩から外します。

② 腹部バックルを外し、お子さまを降ろしてください。

警告

- お子さまを降ろす時は、必ず安全な場所で行う。
- 不安定な場所では、お子さまが落下するおそれがあります。

タテ抱っこする時は〈首がすわってから 体重 11.3kg まで〉

確認

- 面ファスナー
- バックボード
- 回転バックル
- 腹部バックル
- ショルダーベルト

① 本体背面の面ファスナーを外し、バックボードを取り外します。

② 安全な場所で本体を広げます。

③ お子さまを本体の上に寝かせます。

④ 前あて部をお子さまのお腹に乗せます。

⑤ 左右の腹部バックルを差し込み取り付けます。

⑥ お子さまのお腹周りは、大人の指が2～3本入る程度に腹部ベルトを調節します。

警告

- 腹部ベルトをゆるめた状態で使用しない。

回転バックルの取り付け方

- ① カバーを開き、全ボタンを押した状態で、メゾにか合わせる。
- ② カバーを閉じる。

① 左右のショルダーベルトをお子さまの股に通します。

② お子さまの腕を本体の外側に出します。

③ 左右の回転バックルを取り付け、カバーを閉じます。

ヨコ抱っこチェック

確認

- 調節バックル
- 調節ベルト
- ベルトパッド
- ショルダーベルト
- 腹部バックル

① お子さまの頭部が装着者の視界の妨げにならないようにショルダーベルトを調節します。

② 回転バックルベルトを短く調節します。

③ 調節バックルを差し込み取り付けます。

④ 調節ベルトを一番短く調節します。

⑤ ベルトパッドのホックをとめます。

⑥ ベルトパッドとお子さまの間に装着者の頭を通し、お子さまを抱き上げます。

警告

- 回転バックルや腹部バックル、調節バックルを外した状態で使用しない。
- 必ず、お子さまを両手で支えて使用する。
- お子さまが転落し、けがをすることがあります。
- 装着者が痛みや不快を感じた場合は使用を中止する。

簡易抱っこの場合

① お子さまの両腕を出し、ヘッドサポート部を2回折り返します。

② ヘッドサポート部をお子さまの頭部が出るように折り返します。

タテ抱っこチェック

確認

- 回転バックルが確実にとまっている
- カバーを閉じている
- 腹部バックルが確実にとまっている
- 腹部ベルトを調節している
- 調節バックルが確実にとまっている
- 調節ベルトを調節している
- ショルダーベルトを調節している
- お子さまの頭部が装着者の視界の妨げにならない
- 回転バックルベルトを調節している
- お子さまの両腕が出ています

・お子さまを両手で支えて使用してください。

・正しくできていない場合は、もう一度取り付け、調節を行ってください。

警告

- 回転バックルや腹部バックル、調節バックルを外した状態で使用しない。
- 必ず、お子さまを両手で支えて使用する。
- お子さまが転落し、けがをすることがあります。
- 装着者が痛みや不快を感じた場合は使用を中止する。

お子さまを降ろす時

① お子さまを安全な場所に寝かせ、ショルダーベルトを装着者の肩から外します。

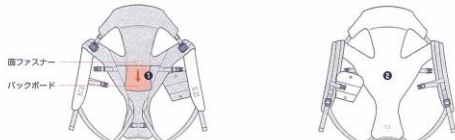
② 腹部バックルを外し、お子さまを降ろしてください。

・外せない場合は他人に調節バックルを外してもらいます。

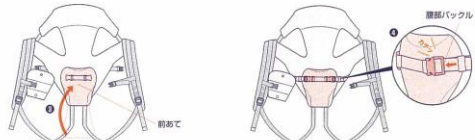
警告

- お子さまを降ろす時は、必ず安全な場所で行う。
- 不安定な場所では、お子さまが落下するおそれがあります。

前向き抱っこする時は〈腰がすわってから 体重 11.3kgまで〉



- ① 本体背面の面ファスナーを外し、バックボードを取り外します。
- ② 安全な場所で本体を広げます。



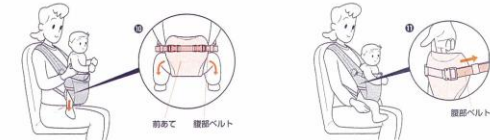
- ③ 前あて部を起こします。
- ④ 左右の腰部バックルを差し込み取り付けます。



- ⑤ 調節バックルを差し込み取り付けます。
- ⑥ 調節ベルトを一番短く調節します。
- ⑦ ベルトパッドのホックをとめます。

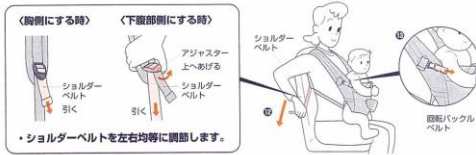


- ⑧ ベルトパッドが装着者の背中側になるように肩ベルトを両肩に掛けます。
- ⑨ ヘッドサポート部を2回折り曲げます。



- ⑩ お子さまを前向きに乗せます。
- ⑪ お子さまのお腹周りは、大人の指が2〜3本入る程度に腰部ベルトを調節します。

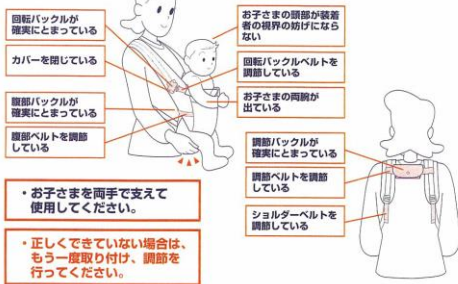
警告 ・腰部ベルトをゆるめた状態で使用しない。



- ⑫ お子さまの頭部が装着者の視界の妨げにならないようにショルダーベルトを調節します。
- ⑬ 回転バックルベルトを短く調節します。

前向き抱っこのチェック

確認

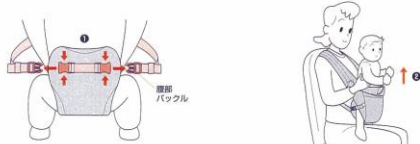


・お子さまを両手で支えて使用してください。

・正しくできていない場合は、もう一度取り付け、調節を行ってください。

警告 ・回転バックルや腰部バックル、調節バックルを外した状態で使用しない。必ず、お子さまを両手で支えて使用する。お子さまが転落し、けがをするおそれがあります。装着者が痛みや不快を感じた場合は使用を中止する。

お子さまを降ろす時



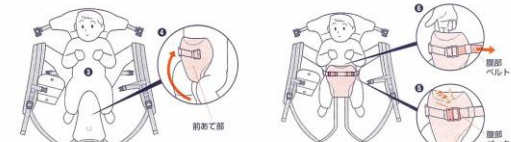
- ① 装着者が安全な場所に座り、腰部バックルを外します。
- ② お子さまを降ろしてください。

警告 ・お子さまを降ろす時は、必ず安全な場所で行う。不安定な場所では、お子さまが落下するおそれがあります。

おんぶする時は〈腰がすわってから 体重 14.9kgまで〉

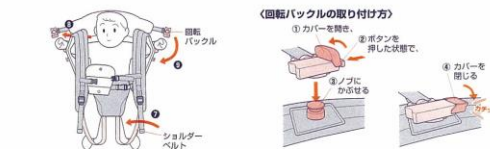


- ① 本体背面の面ファスナーを外し、バックボードを取り外します。
- ② 安全な場所で本体を広げます。



- ③ お子さまを本体の上に寝かせます。
- ④ 前あて部をお子さまのお腹に乗せます。
- ⑤ 左右の腰部バックルを差し込み取り付けます。
- ⑥ お子さまのお腹周りは、大人の指が2〜3本入る程度に腰部ベルトを調節します。

警告 ・腰部ベルトをゆるめた状態で使用しない。



- ⑦ 左右のショルダーベルトをお子さまの股に通します。
- ⑧ お子さまの腕を本体の外側に出します。
- ⑨ 左右の回転バックルを取り付け、カバーを閉じます。



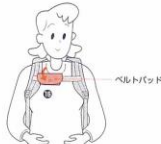
- ⑧お父さまを他の人に支えてもらいます。
- ⑨ショルダーベルトを両肩に背負います。



- ⑩回転バックルベルトを短く調節します。
- ⑪ヘッドサポート部を、お父さまの頭部が出るように折り返します。



- ⑫調節バックルを差し込み取り付けます。
- ⑬装着者の体型に合わせて、お父さまが安定するように調節ベルトを調節します。



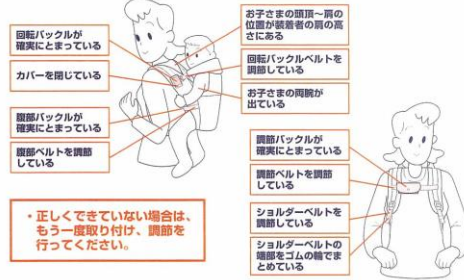
- ⑭ベルトパッドのホックをとめます。



- ⑮お父さまの頭頂～肩の位置が装着者の肩の高さになるようにショルダーベルトを調節します。
- ⑯ショルダーベルトの端部を折り、ゴムの輪に通し短くとめます。

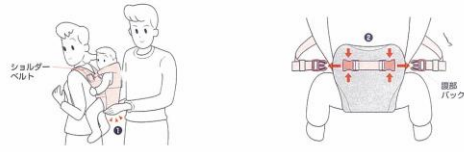
おんぶのチェック

確認 ・装着後は、顔などでおんぶの状態を確認してください。



警告 ・回転バックルやフックを外した状態で使用しない。
 ・おんぶの時は、装着者ひとりでは取り付けられない。必ず他の人に支えてもらい取り付ける。
 ・お父さまが転落し、けがをするおそれがあります。
 ・装着者が痛みや不快を感じた場合は使用を中止する。

お父さまを降ろす時



- ⑰お父さまを他の人に支えてもらい、ショルダーベルトを装着者の肩から外します。
- ⑱腹部バックルを外し、お父さまを降ろしてください。

警告 ・お父さまを降ろす時は、必ず安全な場所で他の人に介添えをしてもらい行う。
 不安定な場所では、お父さまが落下するおそれがあります。

困った時には

＜ご使用前に困った時＞

お気づきの点	対処方法
内容物が欠品や間違いがある時は	販売店または当社に連絡してください。
樹脂部品の破損などがある時は	使用できません。
お父さまの首すわり前でも、6kg以上体重がある時は	お父さまの頭部がヘッド部にあたらない場合は、首が後ろまではヨコ括っこでお使いください。
お父さま首すわり前でも、ヘッド部からお父さまの頭部が出る時は	首がすわるまでご使用になれません。首がすわってから、タテ括っこでお使いください。

＜ご使用中に困った時＞

お気づきの点	対処方法
ヨコ括っこで肩ベルトをまともめるときは	ベルトパッドでショルダーベルトをまともめます。
バックボードの使用について	ヨコ括っこの際は、必ず本体に取り付けてください。
ショルダーベルトの先が長すぎる時は	ベルト先のゴムにたんで渡し、まともめます。
回転バックルのカバーの開閉が硬い時は	腕指のはらで押し上げます。
回転バックルが取り付けにくい時は	カバーを開き、ボタンを押した状態で取り付けます。
装着者の体型について	ヨコ括っこで、ショルダーベルトの長さ調節をしても、お父さまの位置が装着者の胸より下になる場合は、調整ベルトは短く調節してください。
タテ括っこ・肩括っこで装着者の視界の妨げになる時は	転倒のおそれがあるため使用できません。おんぶでご使用ください。
お父さまが安定しない時は	タテ括っこ・肩括っこの際は、調節ベルトは短く調節してください。おんぶの時は、タテ括っこ・肩括っこでの使用が推奨されます。
おんぶの一人での取り付け	お父さまの状態が見えず非常に危険です。一人でではおんぶの取り付けを行わない。他の人に支えてもらい、取り付け（取り外し）を行います。
手荷物がある時は	腕や肩に掛け、お父さまを両手で支えてください。
肩や腰などに痛みや不快を感じた時は	使用を中止してください。
樹脂に破損がある時は	使用できません。
ベルト・生地などに破れ、傷、磨耗、糸切れ、色あせなど劣化が見られた時は	使用できません。

＜ゆすり受けた時など＞

お気づきの点	対処方法
前の使用者がどのような使い方をしていたのかわからない時は	使用状態が不明な商品をご使用になるはお勧めできません。
樹脂部品の破損がある時は	使用できません。
ベルト・生地などに破れ、傷、磨耗、糸切れ、色あせなど劣化が見られた時は	使用できません。

・対応できない場合は販売店または当社に連絡してください。

洗たくについて

＜お願い＞

- ・バックボードは洗たくしないでください。（洗たく前に取り外してください。）
- ・洗たく機、乾燥機は使用しないでください。
- ・バックルなどの破損につながるおそれがあります。

＜洗たくされる場合＞



- ・色落ちするおそれがありますから、他の物とは別に洗たくしてください。
- ・30℃以下の水で押し洗いし、形を整えて干してください。
- ・濡け置きしないでください。

＜軽度の汚れの場合＞

- ・濡らせた布でたいて落としてください。その後、形を整え日陰で平干してください。

- ・洗たく後、充分乾燥させて使用してください。
- 乾燥が不十分な場合、カビなどが発生する可能性があります。

SGマークについて



SGマークが表示された製品は安心してお使いいただけます。

SGマークが表示された製品は安心してお使いいただけますが、消費者の皆さまが正常に使用していた時、製品の欠陥により万一事故が発生し、お父さまが損害を被った場合は、「製品安全協会」がその損害を賠償致します。但しご購入後3年以内です。

賠償についての注意

- ・認定した製品そのものが故障したとしても、その品質について保証するというものではありません。あくまでも傷害などの身体的な損害について賠償する制度です。
- ・生産物賠償責任保険の保険金は、それぞれ実情をよく調査して、実損を補填する妥当な額をお支払いすることになります。

賠償金の請求について

- ・傷害を被った消費者（お父さまなどの場合は保護者でもよい）が賠償金を請求する時は、別欄の項目を事故が発生した日から60日以内に下記の協会または、協会が指定する宛に届けってください。

製品安全協会 〒110-0012 東京都台東区電線2-20-2 ミサウホームズ2階
 TEL 03-5808-3303

＜事故賠償に必要な項目＞

- ①事故の原因となったSGマーク表示の製品
 イ) 製品の名称、SGマーク番号 ロ) 製品の購入先、購入年月
- ②事故発生の状況
 イ) 事故発生年月日 ロ) 事故発生場所 ハ) 事故発生状況
- ③被害の状況
 イ) 被害者の氏名、年齢、性別、職業、住所 ロ) 被害の状況と程度（医師の証明書）